

日本全国の先端技術・サービスを誇るスタートアップが、この1年の成果を発表

ユニコーンや IPO、地域を担っていく中核企業を創出すべく、
その予備軍となるスタートアップを支援するプログラム「FASTAR」。
第 11 期として選抜された 14 社のスタートアップが、
1 年間のプログラムを通じ
繰り上げられた事業計画と事業成果を発表いたします。

11th DEMO DAY

虎ノ門ヒルズフォーラム
【4F】ホールB

2025.8.29 [FRIDAY]
14:00-18:30

登壇企業との **交流会**
17:35 - 18:30

名刺交換
のみでも
OK!

Time Schedule

登壇企業・目次

14:00-14:12

開会、挨拶 / 本取り組み説明

14:12-14:14

審査員挨拶

14:14-14:15

ピッチ説明

14:15
-15:25

参加企業
ピッチ
7社

14:15-14:25

Life Science



株式会社サイディン
熊本県熊本市

シクロデキストリン
プラットフォーム

P4

14:25-14:35

Life Science



イルミメディカル
株式会社
愛知県名古屋市

光の届かなかった場所に、
光を届ける

P5

14:35-14:45

Life Science



Hedgehog MedTech

株式会社
ヘッジホッグ・メドテック
東京都文京区

頭痛 AI 診断・片頭痛治
療アプリを通じた統合的
頭痛サービスの展開

P6

14:45-14:55

Life Science



TANSAQ

株式会社 TANSAQ
福岡県福岡市

個別データに基づく
未病ケアで企業と社会に
健康を届ける

P7

14:55-15:05

Life Science



SECOND
HEART

株式会社
セカンドハート
京都府長岡京市

足病診療支援プラット
フォーム Steplife

P8

15:05-15:15

Clean Tech ·
Green Tech



pentalink

ペンタリンク株式会社
京都府京都市

自動養蚕システムで次世
代の繊維産業を創出する

P9

15:15-15:25

Clean Tech ·
Green Tech



environmental
solutions
architect

株式会社 esa
東京都千代田区

複合プラスチックを再資
源化する循環型事業で持
続可能な社会を実現

P10

15:25-15:40

途中休憩 15分

15:40
-16:50

参加企業
ピッチ
7社

15:40-15:50

Clean Tech ·
Green Tech



ベホマル
Behomal

株式会社ベホマル
滋賀県草津市

環境新素材“美環
(Binowa)”で作るCO2吸
収プラスチック。炭素除
去の市民化へ

P11

15:50-16:00

Clean Tech ·
Green Tech

株式会社

TAK 薄膜

デバイス研究所

株式会社 TAK 薄膜
デバイス研究所
東京都中央区

ε型酸化ガリウムで切り
拓く次世代パワー半導体
の用途革命 — センサ
から電源まで—

P12

16:00-16:10

DX



cycaltrust inc.
サイカルトラスト株式会社

cycaltrust 株式会社
東京都港区

国際標準規格 (ISO/
TC307) へ弊社ブロック
チェーン特許技術を提案。
当該準拠システムを
開発

P13

16:10-16:20

DX



株式会社 X
東京都港区

AI × XR 技術を活用した、
次世代の動画 DX ツール、
文章を書くだけで動画が
できる WriteVideo
の開発

P14

16:20-16:30

DX



株式会社 KeyWeave
福岡県北九州市

SNS で“今”を掴む、
成果直結型の運用代行

P15

16:30-16:40

DX

Smart Robotics Lab.

Smart Robotics Lab.
(広島大学)
広島県東広島市

プラント設備診断を
ターゲットにした
振動監視カメラソリュー
ション技術の開発

P16

16:40-16:50

DX



株式会社 FAI
愛知県名古屋市

製造業を創造業へ
シミュレーション技術を
有効活用した設計・開発
業務の DX 支援

P17

16:50-16:55

投票

16:55-17:15

アンケート / 休憩

17:15-17:30

表彰式

17:30-17:35

閉会

17:35-18:30

交流会



代表者	代表取締役社長 弘津 辰徳 氏
住所	〒 862 - 0973 熊本県熊本市中央区大江本町 5-1 産業イノベーションラボラトリー 4-3
WEB サイト	https://cyding.jp/



事業概要

シクロデキストリンプラットフォーム

環状オリゴ糖のシクロデキストリンを活用した医薬品や機能性食品の研究開発および受託研究を行っています。シクロデキストリンは、内側に疎水性空洞を有するドーナツ型の化合物で内側にさまざまな物質を取り込むことができます。例えば、抗がん剤を取り込むことによりがん組織を標的にして運ぶことができるドラッグデリバリーシステム (DDS) キャリアとして活用でき、安定性や溶解性に問題のある物質を取り込むことで添加物として利用できます。近年の研究ではシクロデキストリン自体も抗がん剤になり得ることを発見し、現在は新規白血病治療薬の開発を目指しています。我々は、このシクロデキストリンをさまざまな用途で活用するシクロデキストリンプラットフォームを構築しています。

強み・アピールポイント

弊社は熊本大学薬学部発ベンチャーで、熊大薬では、50年以上前からシクロデキストリンの医薬応用について研究をしており、知識やノウハウが蓄積されています。医薬研究においては、世界でもトップクラスの実績があります。弊社では研究シーズを社会実装し、世の中の生活の質の向上に貢献するため邁進しています。特に現在取り組んでいる白血病治療薬開発はシクロデキストリンの特性を活用した副作用の少ない新規治療薬として期待できます。

マッチングニーズ

協業・共同開発

医薬品：白血病治療薬の共同研究先・導出先となる企業を探しています。

機能性食品：熊本県内を中心に販売している調“身”料®ドメインの販売パートナーを探しています。

受託研究：有用であるが物性（安定性や溶解性など）に問題のある素材をシクロデキストリンで解決できる可能性があります。

資金調達

白血病治療薬の開発費用として、シードラウンドで 6,000 万円の調達を目指しています。資金使途は、CMC 開発や前臨床試験の準備を予定しています。

代表プロフィール



代表取締役社長
弘津 辰徳 氏

熊本大学大学院 薬学教育部修了、博士（健康生命科学）。博士後期課程在学中の 2016 年に自ら研究を行っていた環状オリゴ糖「シクロデキストリン」を利用した医薬品・機能性食品を開発するため株式会社サイディンを設立。「シクロデキストリンの無限の可能性を探究し、生活の質の向上に貢献する」を理念に掲げ、研究シーズの社会実装拠点を目指す。また、2021 年熊本大学薬学部・薬学教育部の非常勤講師に就任し、アントレプレナーシップ教育にも携わる。



代表者	代表取締役社長 CEO 塚本 俊彦 氏
住所	〒463-0018 愛知県名古屋守山区桜坂4丁目201番地 クリエイション・コア名古屋 207号室
WEB サイト	https://illumimedical.com/



事業概要

光の届かなかった場所に、光を届ける

当社は、「身体の内部、どこにでも光を届けられる医療機器」を研究開発しております。血管経由でデリバリー可能な細径（直径 1.0-1.5mm）で、かつ、デバイス先端から血管側方（血管壁側）に、ある特定の光の強度、密度で照射することにより、血管壁を光が透過し、その光が体内組織を高効率で照射可能なシステム、及びデバイスを世界で初めて開発するに至りました。この「血管を経由した光のデリバリー」を実現できる当社独自のシステム、デバイスを基盤とし、これまで実用化に至らなかった光を用いた神経系疾患治療や再生医療の実用化、及びこれまで光治療が行われていたものの適用範囲が限定的であったがん治療（PDT、NIR-PIT）の適用範囲拡大を目指し、研究開発を行っております。

強み・アピールポイント

- ・血管、管腔経由で光照射できるデバイスの開発、検証の実績
 - ・全身の血管を経由した光照射により適応疾患、患者数が大幅に拡大
 - ・世界で初めて、血管から組織に光を届けるデバイス開発とシステム開発に成功
- 対象癌種を大幅に拡大することができる。

ex. 気管支以外の肺がん、膵癌、脳腫瘍、その他有効な治療法のない癌種やステージへの適応が可能となる。

また、神経系疾患であるアルツハイマー病は中でも特に光を利用する PDT や PTT（光温熱療法）との組合せ技術が有望視されており弊社の技術研究を進展し実用化を目指していく。

光を利用した治療技術の実用化を促進し、これまで治療のできなかった患者さんに有効な治療法を提供する。

マッチングニーズ

協業・共同開発

弊社開発中のデバイスの部材を提供して頂けます企業様（マイクロカーテテル、ハブなど）、コーティング剤のご提供もしくはコーティング塗布をして頂けます企業様、ブタの動物実験の経験者、獣医、動物実験技術者の派遣をして頂けます企業様

資金調達

各種金融機関

代表プロフィール



代表取締役社長 CEO
塚本 俊彦 氏

製薬・化学メーカーでの研究開発を経験後、前職の医療機器メーカーにて約7年間、血管内治療用カテーテルの研究開発業務に従事。前職時より、「光」と「血管内治療技術」を組合せた新たな医療技術の可能性を探求。2022年には世界で初めて血管内から血管外の体組織へ光照射が可能であることを eBioMedicine 誌 (The Lancet Discovery Science) に論文発表。2023年2月にイルミメディカル株式会社を創業し、代表取締役 CEO に就任。2006年に近畿大学大学院総合理工学研究科物質系工学専攻修了、2012年度試験にて技術士（化学部門）を取得。



Hedgehog MedTech

代表者	代表取締役 CEO 川田 裕美 氏
住所	〒112-0004 東京都文京区後楽二丁目3番21号 住友不動産飯田橋ビル
WEB サイト	https://h-medtech.com/



事業概要

頭痛 AI 診断・片頭痛治療アプリを通じた統合的頭痛サービスの展開

ヘッジホッグ・メドテックは、生活への影響が大きく、就労世代の患者が多い頭痛領域において、日本初となる治療用アプリの開発、頭痛 AI 診断機器の開発、疾患啓発・改善プログラムなど、頭痛領域における統合的なソリューションを提供しています。

強み・アピールポイント

① 堅調な臨床試験結果を持つ医療機器パイプライン

頭痛 AI 診断（性能評価試験に向けたプロトコル確定）、片頭痛治療用アプリ（治験準備中）、PMS 治療用アプリ（探索的試験終了）

② 協力的なチーム体制

CEO 川田（医師・厚生労働省・メドレー・ソフトバンク）、CFO 石坂（投資銀行・スタートアップ）、COO 脇（戦略コンサル、スタートアップ）、CTO 木村（楽天、スタートアップ）など、経験豊富な経営陣が在籍。加えて、プログラム医療機器開発経験者を中心とした薬事・臨床開発チーム、医師・看護師等の強いチーム体制。

マッチングニーズ

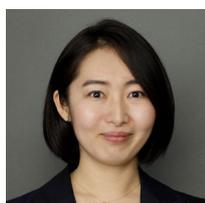
協業・共同開発

- ① 企業向け頭痛改善プログラムの共同開発・共同販売
- ② 女性健康に関する検定サービスの共同開発・共同販売
- ③ 医療機器の共同開発

資金調達

2022 年シードラウンド 1.45 億円、2023 年シリーズ A ラウンド 5.0 億円の資金調達を実施しました。これまで、慶應イノベーション・イニシアティブ、DBJ キャピタルを中心として既存投資家の力強いサポートをいただきながら順調に成長を続けています。今後、医療機器の治験費用を中心に追加の資金調達を検討しています。

代表プロフィール



代表取締役 CEO
川田 裕美 氏

医師、医学博士、産業医。2012 年神戸大学医学部卒業、同年 4 月より住友病院にて初期研修。2014 年に厚生労働省入省、難病対策課、結核・感染症課に在籍。2017 年に株式会社メドレーに入社し、オンライン診療に関して、Government Relations、アカデミアとの連携を推進。2020 年からソフトバンク株式会社に入社し、デジタルヘルス領域の投資検討及び海外企業との JV 設立を担当。2021 年、株式会社ヘッジホッグ・メドテック設立。東京科学大学客員准教授に加え、神戸大学・順天堂大学で非常勤講師。



代表者	代表取締役 西脇 森衛 氏
住所	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神 2-3-10 天神パインクレスト 719
WEB サイト	https://tansaq.jp/



事業概要

個別データに基づく未病ケアで企業と社会に健康を届ける

弊社は、潜在的な健康リスクを可視化し、予防医療の実践を支援する包括的な未病ケアソリューションを開発しています。血液検査、内臓脂肪、遺伝子検査等の結果に基づき、個人の体質・体調に最適化された詳細な健康分析レポートおよび改善プログラムをご提供します。なかでも私たちは、健康の“多面性”を映し出す先行指標・バロメーターとして「尿酸値」に注目しています。企業向けの健康経営支援、研究機関との共同開発、地域イベントでの測定サービスなどを展開し、社会全体の健康リテラシー向上と予防医療の普及を目指しています。

強み・アピールポイント

多面的な検査データやユーザーの生活ログ、嗜好性や行動特性などを活用し、未病リスクの可視化と個別最適な改善プログラムを提供できるところに強みがあります。高い専門性と幅広い解析技術に加え、複数の事業化経験で培った実装力を強みに、これまでにない視点と方法で未病領域に挑戦しています。大学・医療機関との共同研究、地域社会との連携を通じ、科学的根拠とユーザー視点を両立させたサービス開発を行っている点が、弊社の特長です。

マッチングニーズ

協業・共同開発

食品、サプリメント、飲料メーカーとの製品開発や既にお持ちの商品の効果検証実験、未病対策に興味がある自治体、企業との実証実験など

資金調達

事業会社との戦略的資本提携、およびヘルスケアに強い VC からの資金調達を視野に入れています

代表プロフィール



代表取締役
西脇 森衛 氏

北海道大学大学院農学研究科生物資源生産学専攻で博士号を取得。

これまでに遺伝子解析・病理検査系のベンチャーで研究開発、受託解析・製薬企業向けバイオマーカー試験事業を牽引。また、大手臨床検査センターでは、次世代シーケンサー（NGS）を活用した先進的なサービスの事業化にも貢献。2022年4月に未病ヘルスケアをテーマにした株式会社 TANSAQ を設立。「知ることが最良の予防になる」を信条に、科学的根拠に基づいた未病ケアの実現に取り組んでいる。



SECOND
HEART

代表者 代表取締役 石田 幸広 氏

住所 〒 617 - 0836
京都府長岡京市勝竜寺巡り原 22 番地の 9

WEB サイト <https://www.secondheart.co.jp>



事業概要

足病診療支援プラットフォーム Steplife

株式会社セカンドハートは、糖尿病による足切断ゼロを目指し、「足病診療支援プラットフォーム Steplife」を提供しています。Steplife は、足の状態を可視化するクラウドアプリと、末梢神経障害を定量評価できる検査機器「デジタル音叉」で構成され、一次予防からの介入を可能にします。すでに地域機関病院やクリニックで導入実績があり、今後はアジア圏への展開を視野に入れています。足を守り、社会参加を続けられる未来を共に創ります。

強み・アピールポイント

糖尿病による足切断を防ぐには、早期発見と早期介入が鍵です。Steplife は、視診によるフットチェックをクラウド化し、現場の判断を AI が支援。さらにデジタル音叉により、末梢神経障害を定量的に評価可能です。専門医不足が深刻な現場でも、一次予防からのフットケア導入が容易になり、患者の QOL と医療経済の両立に貢献します。

マッチングニーズ

協業・共同開発

一次予防からのフットケアを普及させるため、病院・クリニックとの連携はもちろん、自治体・保健事業者など可能性の幅を広げて協業を求めています。また、保険適用や地域包括ケアとの接続も視野に、医療機関・行政・介護事業者との実証・連携を推進したいと考えています。

資金調達

現在、東南アジアを中心としたグローバル展開と、国内医療機関への導入拡大のための開発資金や事業整備を目的に資金調達を進めています。特に SaaS 型ビジネスのスケール支援や医療ヘルスケア分野での実績を持つ VC・CVC からの支援を歓迎します。社会課題解決型のインパクト投資家も対象としています。

代表プロフィール



代表取締役
石田 幸広 氏

1981 年広島県生まれ。広島国際大学臨床工学科卒業後、臨床工学技士として 20 年にわたり人工透析や医療機器管理に携わる。医療機関に勤めながら 2019 年に医療ヘルスケア機器開発支援を目的とした石田プロダクツ合同会社を創業。その後、本事業を進めるため、2023 年 12 月に株式会社セカンドハートへ組織変更し、代表取締役に就任。「糖尿病による足切断ゼロ」をミッションに、末梢神経障害の早期発見とフットケアの標準化を実現する足病診療支援プラットフォーム「Steplife」を国内外に展開中。2024 年には Malaysia Tech Entrepreneur Programme を取得し、国際展開も積極的に進めている。



代表者 代表取締役 野中 章生 氏

住所 〒 603 - 8245
京都府京都市北区紫野西連台野町 19 番地の 4

WEB サイト <https://pentalink.jp/>



事業概要

自動養蚕システムで次世代の繊維産業を創出する

ペンタリンクでは餌から繭までを内製化しています。桑葉を栽培しそれを使った人工飼料を製造し蚕を飼育し繭を作っています。独自に開発した自動養蚕システムと桑葉を生産最適地である東南アジアで自社生産することで蚕の低コスト・安定生産を可能にする。産学連携により蚕の幼虫からシルクタンパク質を高効率に抽出する技術の開発に成功。抽出したタンパク質を用いた新素材の開発に取り組んでいる。石油由来製品の代替を目指すことで社会課題の解決に取り組み、場所を選ばない本技術は地方に所在する企業との連携により地域振興や地域活性化にも貢献したいと考えています。

強み・アピールポイント

弊社では自動養蚕システムを作業ロボットから自社開発し低コスト化を実現いたしました。環境コントロール技術により従来の年2回ではなく10回以上の養蚕が行えます。また餌のキー材料である桑葉パウダーを面積当たりの生産量が日本の3倍以上の東南アジアで生産することにより大幅にコストダウンしています。東京農工大学との共同研究で蚕の幼虫からシルクタンパク質を高効率に抽出することに成功し特許を申請中です。これは繭からシルクタンパク質を抽出する従来型の方法に比べ簡便かつ高品質（高分子量）です。これを利用した高品質繊維、フィルム、モールドなどの開発を進めています。

マッチングニーズ

協業・共同開発

シルクタンパク質を使用した医療品、化粧品を開発、計画している会社。

資金調達

シリーズ A での調達 1.1 億円を目標に計画。養蚕設備の大規模化、東南アジアなどへの進出基盤整備などに充当することを予定しています。

代表プロフィール



代表取締役
野中 章生 氏

カナダのサイモンフレイザー大学物理学科を卒業後、音響機器設計に携わります。株式会社エミライなどで音響機器の設計を担当しました。同時に、家業である西陣織の紫紘株式会社にて、次世代養蚕部門を担当。JICA と連携し、東南アジアのラオスで桑葉栽培乾燥事業を実施しました。また、マイクロニクス社と共同で自動養蚕システムの開発にも取り組みました。2020 年には、ペンタリンク株式会社を創立し、現在に至ります。



代表者 代表取締役 黒川 周子 氏
住所 〒104-0004
東京都千代田区大手町 2-2-1
新大手町ビル 3 階 0 Club (ゼロクラブ)
WEB サイト <https://esa-gl.com/>



事業概要

複合プラスチックを再資源化する循環型事業で持続可能な社会を実現

複合プラスチックの再資源化を可能にする独自技術「esa method」を開発・提供しています。これまで焼却や埋立に頼らざるを得なかった多層フィルムや異素材混合プラスチックを、微分散化された再生樹脂 Repla® として再資源化し、企業活動、資源循環と CO₂ 削減の両立を実現します。製造業や自治体との連携により、実用性と即効性のあるマテリアルリサイクルというソリューションで、循環型社会のインフラを構築しています。また、再生材の加工・販売、リサイクル導入支援、環境マーケティングの提案など、素材から情報発信まで一貫して支援。国内外への技術展開も視野に、持続可能な社会の共創を目指しています。

強み・アピールポイント

複合プラスチックの再資源化を実現する独自技術「esa method」と、「with プラ」という共生型の活動が esa の強みです。欧州では包装材リサイクル規則 (PPWR) や拡大生産者責任 (EPR) の厳格化が進み、米国でも再生材の使用義務やプラスチック課税が導入されるなど、世界的に資源循環を前提とした規制が強化されています。日本国内でも、プラスチック資源循環促進法や自治体による独自の CO₂ 削減目標の制定が進み、企業には対応策の早急な導入が求められています。esa は、これら国内外の制度変化に対し、即応できる技術とモデルを持ち、「環境対応＝経済価値」という新たな基準を提示する存在です。素材・思想・事業性の三位一体が、グローバル市場における esa の競争優位を支えています。

マッチングニーズ

協業・共同開発

再生樹脂を活用している、または、したい製造業、包装資材メーカー、流通・小売業、自治体などとの協業を模索しています。特に、esa method を活用した再資源化スキームの導入や、再生材 Repla® を使った製品開発、環境配慮型パッケージの共同開発に関心のある企業との連携を重視しています。国内外の法規制に対応した循環型モデルの構築に取り組むパートナー様を探しています。

資金調達

1 年後を目処に、事業の更なる拡大と海外展開に向けた資金調達を検討しています。主に再生材 Repla® の生産体制強化、国内外の提携先との実証プロジェクト推進、及び開発人材の採用・育成が目的です。技術と事業の両軸を支える資本パートナーを求めています。

代表プロフィール



代表取締役
黒川 周子 氏

英国の大学で学士号を取得後、米国にて実務経験を重ね、日本へ帰国。飲食店舗の開発・運営に従事。2011 年の東日本大震災を契機に、環境保全と教育支援を目的としたチャリティー団体「カーネーションズ」を共同設立。2022 年 3 月、株式会社 esa を創業。複合プラスチックを再資源化する技術を開発し、京都大学と共同研究を実施。再生樹脂の量産化に成功し、循環経済の実現を目指す。グリーンイノベーションの推進を通じて、企業として持続可能な成長を目指す。



代表者 代表取締役 西原 麻友子 氏
住所 〒525-8577
滋賀県草津市野路東 1-1-1
立命館大学BKCインキュベータ201号室
WEB サイト <https://www.behomal.co.jp/>



事業概要

環境新素材“美環 (Binowa)”で作るCO2 吸収プラスチック。炭素除去の市民化へ

私たちはバイオマスCO2 吸収材“美環 (Binowa)”の開発製造販売を行う環境素材スタートアップです。本材料をプラスチックに混ぜて製造することで、CO2 吸収プラスチック“DAC プラ”ができます。このDAC プラの社会普及を進めることで、「いつでもどこでも誰でも」日常生活の中でCO2 を大気中から除去し、カーボンニュートラルな社会形成に貢献できる社会を目指します。顧客としてはプラスチック/樹脂製品を多く使うメーカーで、かつサステナブルな取り組みに興味がある企業です。私たちが提供するものは、粉末素材としてのCO2 吸収材もしくはそれを添加した樹脂ペレットです。お客様とともに世界初のCO2 吸収〇〇!という製品化を進めていきます。

強み・アピールポイント

私たちの取り扱う素材、バイオマスCO2 吸収材は米国ノーベル化学賞受賞者が発明した技術です。この材料は植物由来の材料から作られ、食べられるCO2 吸収材として、安全性と環境性に優れた環境素材です。私たちはこの技術の独占ライセンス権を獲得し、さらにこの技術をベースに、用途展開・材料改質開発・独自製造装置開発をしました。私たちは樹脂製品は作りません。あくまでも素材メーカーとして、多くの企業の皆様に素材を提供しDACプラ製品を世の中に広めていくスタンスです。CO2 吸収するプラスチックはこれまでに無く、巨大プラスチック市場をターゲットに、新しい市場をこれから創造していきます。

マッチングニーズ

協業・共同開発

粉末での提供の他、PE(ポリエチレン)もしくはPP(ポリプロピレン)に添加した樹脂ペレット(マスターバッチ)での提供が可能です。ほかの樹脂は開発中になります。まずは少量、イベント商材等から始め、CO2 吸収製品の市場トライアルを進めてみませんか?これ以外の樹脂材料やインク化の開発も進めています。共同開発をしていただける企業様を募集しています。是非お声がけください。

資金調達

2027年量産化に向けて、プレシリーズAの資金調達(1億円程度)を進めます。基本的な資金は補助金事業を利用し社内で小量産ラインを構築しますが、補助金ではカバーしきれない部分については、エクイティによる資金調達を予定しています。多くのニーズをいただいている中、量を提供できないことが一つのネックになっています。ご支援のほどよろしくお願ひします。

代表プロフィール



代表取締役
西原 麻友子 氏

大手電子部品メーカーにて研究開発職として15年間勤務し、樹脂と粉末および添加剤を組み合わせた機能性ペーストの開発などに従事。その後、脱サラして2022年11月に環境素材系スタートアップ・株式会社ベホマルを創業。「日常をCO2 回収スポットに」というミッションのもと、バイオマス由来のCO2 吸収材の開発・製造・販売および、これを用いたCO2 吸収プラスチック製品の展開を行う。起業当初は自宅和室の一角に構えた小さなラボからスタートし、現在は立命館大学BKCインキュベータにて研究開発を推進。日常生活の中でCO2 を回収する新たな社会インフラの構築を目指している。

株式会社
TAK 薄膜
デバイス研究所

代表者 代表取締役社長 藤井 隆満 氏
住所 〒103-0026
東京都中央区日本橋兜町 17 番 2 号
兜町第 6 葉山ビル 4F
WEB サイト <https://tak-fd.com/>



事業概要

ε 型酸化ガリウムで切り拓く次世代パワー半導体の用途革命

— センサから電源まで —

TAK 薄膜デバイス研究所では、これまで実現が難しかった ε 型酸化ガリウムの安定的な薄膜形成に成功し、特にサファイア基板上で 300℃という低温条件下で高い結晶性を確認しています。ε 型は強誘電性・直接遷移型・p 型伝導の可能性を併せ持つユニークな材料であり、従来のパワーデバイスの課題であった pn 構造の不在や高温プロセス依存を克服できると考えています。この技術は、日本のパワーデバイス産業の競争力を再構築し、AI 時代の省エネルギー化やフレキシブルな用途拡大に貢献します。材料・装置・用途の統合展開により実用化を目指します。

強み・アピールポイント

当社は、液体金属ターゲットを活用した独自のスパッタ法により、300℃という低温で ε 型酸化ガリウムの高結晶性薄膜を形成可能にしました。従来の高温プロセスでは困難だった pn 構造や柔軟基板への成膜が期待でき、非鉛圧電素子、透明絶縁膜、高耐圧トランジスタなど幅広い用途が想定されています。従来技術との差異は「基板選択の自由度」や「積層構造への適合性」といったプロセス設計の柔軟性にあり、ユーザーにとっては小型・軽量・高信頼性・低消費電力といった明確な価値につながると信じております。

マッチングニーズ

協業・共同開発

パワーデバイス・センサ用途に関わる材料メーカー、デバイスメーカーやユーザーと連携し、本技術を活用した新製品開発を進めたいと考えています。特に pn 構造デバイスや放射線センサなど、実装を見据えた試作・評価に取り組めるパートナーを歓迎します。

資金調達

本格的な事業立ち上げに向けて、デバイスのモジュールの試作・検証に必要な資金を調達をしたい。ディープテック領域に関心のある VC や戦略的投資を検討される企業との協業を通じ、早期の事業成長と市場展開を目指しています。

代表プロフィール



代表取締役社長
藤井 隆満 氏

山口大学大学院にて博士（工学）を取得後、セントラル硝子で開発から製造までを担当し、量産を意識した開発の重要性を学びました。その後、KRI にて基礎研究のビジネス化を経験し、富士フイルムでは MEMS 事業や R&D 体制の立ち上げに貢献。特に高性能圧電膜は一人で開発を始め、シリコンバレーの仲間とともに装置設計から実用化までを実現し、国内外でのビジネス展開に繋がりました。この「技術をビジネスに変える力」を活かして新規事業創出を支援する技術士事務所を 2019 年に設立。さらに、自身の強みと社会貢献を掛け合わせたアイデアを形にするため、2020 年に TAK 薄膜デバイス研究所を設立しました。



代表者	代表取締役 須江 剛 氏
住所	〒107-0062 東京都港区南青山 1-12-3 LIFORK MINAMI AOYAMA (S105)
WEB サイト	https://cycaltrust.co.jp/jp



事業概要

国際標準規格 (ISO/TC307) へ弊社ブロックチェーン特許技術を提案。 当該準拠システムを開発。

弊社は、製品・サービスの真正性（真贋性）担保、サプライチェーン透明化、その他カーボンフットプリントの信憑性を連結担保する「Web3 × AI」真正性担保エコシステム「鑑定証明システム®（複数特許取得済み）」発明企業です。本システムは、「マルチシグ認証」をセンターピンに据えた特許を複数取得し、製品・サービスの上流から下流までを完全に担保。これにより、模造品を完全に排除すると共にサーキュラーエコノミーを実現する革新的なソリューションです。ブロックチェーン技術と AI 技術を統合することで、製品・サービスに係るデータの不正・改ざんを完全に防止し「ウソ・偽りのないトラストな世界」という弊社ビジョンの実現に向けて邁進しております。

強み・アピールポイント

製品・サービスに係る複数の真正性（真贋性）担保技術を「基本特許」として確立し、ブロックチェーン分野において圧倒的な知財優位性を構築しています。また、国際標準規格 (ISO/TC307) への参画（経済産業省による公募採択）を通じ、当該規格に準拠した高度なブロックチェーンシステムの開発を推進中です。さらに、「ISO/TC307」の日本代表として世界的に注目される「デジタルプロダクトパスポート (DPP)」規格提案を主導し、FRAND 宣言を活用した知財と標準化の両立による「オープン・クローズ戦略」で、グローバルな信頼と市場競争力を一層高めています。

マッチングニーズ

協業・共同開発

アート作品、スニーカー、化粧品などの模造品被害が深刻な業界やリユース・リセール業界、真正性（真贋性）の担保が求められる半導体、医療、その他防衛装備品業界といった多様な分野の企業さま・団体さまとの協業・共創を希望しています。各業界のパートナーさまと連携し、ブロックチェーン技術と AI 技術の利活用による高精度な真贋判定と 24 時間 365 日監視システムを実装することで、“本物”の価値と社会的信頼を守る新たなエコシステムを共に築いてまいります。

資金調達

バリュエーションは 10 億円、ラウンドを「プレシリーズ A」として資金調達を進めています。調達資金は、国際標準化 (ISO) 取得費用、高度な専門知識が必要なブロックチェーンエンジニアの人材確保、その他広告宣伝費に充当いたします。また、5 年以内のユニコーン IPO を目標にさらなる成長を目指しています。なお、1,500 万円の「J-KISS」は既にエンジェル投資家より行使済みです。

代表プロフィール



代表取締役
須江 剛 氏

大学卒業後、某有名ショッピングモール運営企業で 13 年間カスタマーサポート、マーケティング戦略室、M&A 事業部を担当し「顧客視点」経営を習得。在籍当時、高級ブランド模造品問題の解決策を模索中に DLT 技術群（ブロックチェーン、NFT、DID/VC、ゼロトラスト等）に着目し将来性を確信。退職後は 3 年間コンサルタントとして同技術を探究し、真贋証明とサプライチェーン透明化を実現する特許を発明。2020 年に cycaltrust 株式会社を創業し「Web3 × AI」真正性担保エコシステム「鑑定証明システム®」を開発（複数特許取得済み）。現在は経営戦略の立案・実行を通じて企業価値向上と同システムの事業拡大を加速中。



代表者	代表取締役 米倉 暁 氏
住所	〒105 - 6415 東京都港区 虎ノ門 1 丁目 17 番 1 号 虎ノ門ヒルズビジネスタワー 15 階
WEB サイト	https://www.xinc.co.jp/



事業概要

AI × XR 技術を活用した、次世代の動画 DX ツール、 文章を書くだけで動画ができる WriteVideo の開発

文章を書くだけで動画ができる WriteVideo。何度も繰り返し行う説明業務を AI が皆さんの代わりに説明してくれます。AI にキーワードを入力するだけで、最適な動画の構成・セリフ・レイアウトを生成。業務で活用しているお手持ちの PDF や PowerPoint、文章のみの Word マニュアルをアップロードするだけでも、最短 5 分で AI が分かりやすく説明動画を作成してくれます。AI が修正した動画は後から人の手で簡単に修正可能、動画編集画面も Word と PowerPoint を操作するような編集画面で、動画編集スキルは一切不要！日本語で作成した動画は約 60 か国語の言語に翻訳できる、次世代の業務効率 AI 動画生成サービスです。

強み・アピールポイント

弊社は AI と XR 技術を掛け合わせてビジネスを展開しているスタートアップ企業です。ビジネス向けの動画編集ツールや、クリエイター向け動画編集ツール、AI 動画生成ツールと、世の中に動画生成ツールがあふれていますが、弊社の特徴は、国内産の AI 動画生成ツールになり、通常の動画編集画面のような複雑な編集画面ではなく、パソコンが苦手な方でも明日から使える動画編集サービスとなっています。AI が作った動画をそのまま活用ではなく、最後にしっかりと人の手で修正が行い、新しい情報のアップデートも簡単に行えるため、常に最新の情報を発信し続けることができます。説明業務は AI に任せ、人がやる業務と AI が行う業務を切り分け、業務の生産性向上を強力にサポートする DX ツールです。

マッチングニーズ

協業・共同開発

病院、医療、介護、行政、大学(学校)、建設・不動産の業界とお取引のある企業様と連携し、業界で課題となっている、説明業務の属人化や人による説明のバラつきなどを WriteVideo の販売を協業いただける企業様中心にお話しできればと思います。

資金調達

WriteVideo の販売を協業いただける CVC 様を中心にお話しできればと思います。

代表プロフィール



代表取締役
米倉 暁 氏

リクルート在籍時に年間 MVP を受賞し、新規事業コンテスト「NewRing」も受賞。営業部門から事業開発室に異動し、新規事業の企画・立ち上げを担当。副業で株式会社 drone supply & control を創業し、オンラインドローンレンタルサービスを立ち上げ、同分野で日本 No.1 のサービスに成長させた後、M&A により同社をバイアウト。現在は株式会社 X にてシリアルアントレプレナーとして、AI × XR 技術を活用した複数の事業を展開。2024 年には、業務用動画生成サービス「WriteVideo」をリリースし、急成長させている。



代表者	代表取締役 Co-CEO 畠山 雄樹 氏・織田 漸 氏
住所	〒 802 - 0002 福岡県北九州市小倉北京町 3 丁目 1 番 1 号 セントシティ 7F
WEB サイト	https://keyweave.jp



事業概要

SNS で “今” を掴む、成果直結型の運用代行

株式会社 KeyWeave は、SNS 運用代行・立ち上げ支援・コンサルティングをワンストップで提供する SNS 運用代行 / マーケティング支援企業です。採用市場・EC 市場・集客手法が目まぐるしく変化する今、我々は「今に強い会社」として、変化に即応する SNS 戦略を提案・実行しています。アカウントの戦略設計から、企画・撮影・編集・投稿・分析まで、運用に関わる全てを一括で担い、SNS を “使いこなす” 企業様のビジネスを加速させています。

強み・アピールポイント

当社は、Z 世代・α 世代の最新トレンドを的確に分析し、視聴者心理から逆算した構成で成果に直結するコンテンツを企画・制作します。現在は、開発中の独自の AI 企画生成技術により「感性の定量化」を実現し、投稿後は再生数やエンゲージメントをリアルタイムに分析して高速 PDCA を回すことを目指しております。北九州の地方企業向けきめ細かな支援と、東京拠点による最新潮流キャッチを融合させたグローバル戦略により、導入後は内製化まで見据えた伴走支援を行います。

マッチングニーズ

協業・共同開発

広告代理店様やマーケティング会社様と連携し、それぞれの強みやリソースを掛け合わせることで、クライアント企業が抱える採用・販売促進・認知拡大といったさまざまな課題を、SNS を活用して効果的に解決していきたいと考えています。

資金調達

事業拡大に向け、さらなるプラットフォーム開発や人材採用を見据えたデッドファイナンスによる資金調達を検討しております。安定的なキャッシュフローを背景に、長期的なサービス品質向上を目指します。

代表プロフィール



代表取締役 Co-CEO
織田 漸 氏・畠山 雄樹 氏

織田氏：長崎県出身。大学進学を期に、北九州へ移住。大学では主に宇宙工学を専攻。その傍ら株式投資を行い、ショート動画と企業広報を掛け合わせたビジネスに目をつけ、2024 年に株式会社 KeyWeave を設立。

畠山氏：神奈川県出身。高校時代に映像制作と TikTok 活用を始め、大学進学を機に北九州へ移住。九州工業大学で 13 カ国共同の衛星開発に携わる傍ら、個人で企業のプロモーション映像や SNS コンテンツを多数制作。活動を通じて地方企業の情報発信力の弱さに課題を感じ、卒業後の 2024 年に株式会社 KeyWeave を設立。Z 世代ならではの視点で、ショート動画を用いた SNS ブランディングと採用支援を展開している。

Smart Robotics Lab.

代表者	先進理工系科学研究科 助教 島崎 航平 氏
住所	〒739 - 0046 広島県東広島市鏡山 3-10-31 広島大学デジタルものづくりリノベーション拠点 206 号室
WEB サイト	https://robotics.hiroshima-u.ac.jp/jp/



事業概要

プラント設備診断をターゲットにした振動監視カメラソリューション技術の開発

本事業では、振動可視化を実現するポータブル型エッジ高速カメラと高速画像処理技術を活用し、非接触・広域・リアルタイムでの振動モニタリングを実現する次世代エリアセンシング技術の社会実装を目指します。従来の接触式センサでは困難だった高所・高温・広域設備の状態監視を可能にし、プラントや製鉄所などの大規模インフラにおける異常検知・予知保全の高度化を推進します。サーバー転送にボトルネックであった、大容量の高速カメラ映像をエッジ処理によるデータ圧縮で、データ容量削減し、長時間・遠隔監視も低コストで可能となり、保守業務の省力化、安全性向上、コスト最適化に貢献します。

強み・アピールポイント

本技術の強みは、非接触かつ広範囲でのリアルタイム振動計測を実現できる点です。エッジ高速カメラと独自の画像処理技術により、高所・高温・複雑構造物といった従来のセンサでは計測が困難な環境にも対応可能です。1台で広域をエリアセンシングでき、設置作業やコストを大幅に削減することに加えて、3次元モデルに対して、カメラ位置を推定し、時空間稠密なセンサ機能を実現することができます。さらに、AIによるソフトウェアセンサが振動解析及び状態診断を自動化し、現場の属人性を排除。予兆保全の精度と効率を高め、安全性と稼働率の向上に貢献します。設備保全の高度化が求められるプラント・製造業界を中心に、国内外で拡大する予知保全市場において高いニーズが見込まれます。

マッチングニーズ

協業・共同開発

本技術の実用化に向けては、設備保全ニーズを有する企業との連携による実証実験を通じたフィードバックが不可欠です。特にプラント・製鉄・重工業など、振動監視が重要な業界の現場と協力し、実際の導入を想定した評価・検証・仕様検討を共同で進めることで、より高い現場適応性と実用性を備えたシステムの開発を目指します。センサや高速カメラメーカー等の協業先との技術的・事業的なすり合わせを通じて、将来的な導入・普及にもつながる体制を構築します。

資金調達

本技術の社会実装に向けては、PMF 達成に向けた市場選定に対して、試作開発や現場実証、顧客ヒアリング・フィードバックによる PDCA サイクルを効果的に回す必要があります。また、海外展開に向けたグローバル知財取得、競合分析、専任人材の確保などに多額の資金が必要です。初期段階では公的補助金の活用を図りつつ、事業の進捗に応じて CVC やベンチャーキャピタルからの出資も視野に入れ、段階的かつ戦略的な資金調達を実施します。

代表プロフィール



先進理工系科学研究科
助教
島崎 航平 氏

広島大学工学部を卒業後、同大学大学院システムサイバネティクス専攻にて博士号を取得。高速ビジョン技術を基盤に、構造物や機械の微細な振動を画素レベルで可視化する「振動イメージング」や「リアルタイムセンシング」の研究に従事。中国科学院、インドの国立研究機関などの国際共同インターンシップを通じて、グローバルな視点で技術の応用と展開を経験。広島大学デジタルものづくり教育研究センター特任助教、現職に至る。橋梁・プラント・製造装置などの構造ヘルスマニタリングから、ドローンや昆虫の飛行解析に至るまで、多様な分野への応用に取り組み、スタートアップの創業に至る。これまでに NEDO NEP 審査員特別賞をはじめ、国内外での受賞歴多数。



代表者	代表取締役 CEO 海老原 寛 氏
住所	〒466-0064 愛知県名古屋市昭和区鶴舞1丁目2-32 StationAi
WEB サイト	https://fai-inc.co.jp/



事業概要

製造業を創造業へ

シミュレーション技術を有効活用した設計・開発業務の DX 支援

FAI は、シミュレーションと最適化技術を活用し、製造業の設計・開発プロセスを根本から変革する設計 DX プラットフォームを開発・提供しています。従来の「検証のためのシミュレーション」から脱却し、「設計を生み出すシミュレーション」へと転換。トポロジー最適化やパラメトリック最適化、AI 技術を組み合わせることで、複数性能の同時検討と手戻りのない開発を実現します。これにより、設計期間の短縮、品質向上、試作削減を通じて、製造業の生産性と創造性の飛躍的向上に貢献します。さらに、国内外の製造現場への展開を見据え、教育・伴走支援も行っています。日本発の技術で、ものづくりの未来を切り拓きます。

強み・アピールポイント

FAI の最大の強みは、シミュレーション技術と最適化手法を単なる「検証ツール」ではなく、「創造の源泉」として位置づけている点にあります。トポロジー最適化やパラメトリック最適化、高度な数学を応用した独自の感度解析技術「IFTD 法」を組み合わせ、複数の性能要件を同時に満たす高効率な設計を実現します。従来の属人的・経験依存の開発プロセスを脱却し、論理的で再現性の高い意思決定を支援できるのが特徴です。さらに、クラウド対応やアジャイル開発との親和性も高く、導入のハードルを下げつつ改善サイクルを加速します。日本の製造業の課題に対し、構造改革を提案できる点が FAI の大きなアピールポイントです。

マッチングニーズ

協業・共同開発

当社は、設計段階でのシミュレーション活用に課題を感じている企業様との協業を希望しています。PoC（概念実証）を通じて、実際の設計プロセスに深く入り込み、現場のニーズや制約を共有しながら、製品の改善と技術の社会実装を加速したいと考えています。とくに、トポロジー最適化や多目的設計、設計手戻り削減に関心のある企業様と、共に次世代の設計手法を実装していけるパートナーを募集しています。

資金調達

当社は、設計開発の現場に深く入り込み、PoC を通じた製品改良と社会実装を着実に進めております。製造業における導入には一定の時間がかかるため、必ずしも即時のスケールを求めず、中長期の視点で成長を支えてくださる VC 様とのお縁を求めています。製造業特有の文化やスピード感を理解いただいたうえで、共に社会課題の解決と産業構造の変革に挑んでいただけるパートナーを歓迎します。

代表プロフィール



代表取締役 CEO
海老原 寛 氏

約20年間にわたり、製造業でCAE(構造解析・最適化)技術の実務と現場展開に従事。設計者へのシミュレーション導入を推進する中で、日本における“実験値への合わせこみ”“後工程対応”中心の開発文化に課題を感じ、「予測型」「創造支援型」への転換を志す。名古屋大学大学院博士後期課程に進学し、最適設計・関数解析・圏論などの数理を学ぶ(現在は休学中)。2024年に名古屋大学発ディープテックスタートアップ「株式会社FAI」を創業。独自開発の完全自動感度解析技術を活用した技術を通じて、日本の製造業における設計プロセスの抜本的改革と、人間の創造性を最大限に引き出すものづくりの実現を目指している。

中小機構 支援策ミニガイド

スタートアップ挑戦支援事業

スタートアップや起業を志す方の事業計画策定、戦略立案、資本政策、知財・法務等のご相談に対して、各分野のアドバイザーが無料に対応する事業です。



FASTAR (アクセラレーションプログラム)

事業課題に悩むスタートアップに対して、資金調達や事業成長の実現を目指して支援専門家が伴走するアクセラレーションプログラムです。



インキュベーション事業

中小機構が全国で29のインキュベーション施設を運営。主に研究開発型スタートアップが事業を立ち上げる際の拠点として事業スペースの提供と専門家によるサポートを実施しています。



ファンド出資事業

中小機構から民間のVC等が運営するファンドに対してLPとして出資を行い、スタートアップへのリスクマネーの供給を促進しています。



債務保証制度

特定の法律に基づき事業計画の認定を受けた中小企業・スタートアップが、民間金融機関等から行う事業資金の借入について、中小機構が債務保証を行う制度です。



J-GoodTech スタートアップマッチングスクエア

スタートアップを大手企業、VC、海外企業に紹介。大手企業等とスタートアップの連携・取引ニーズを公開し、マッチングを推進します。



中小企業ビジネス支援サイト J-Net21

中小企業への幅広い情報提供と合わせて、起業を目指す方やスタートアップにおすすめの情報コンテンツをご用意しています。



Japan Venture Awards (JVA)

革新的かつ潜在成長力の高い事業や社会的課題の解決に資する事業を行う、志の高いスタートアップの経営者を発掘・表彰する制度です。

